



地元の天然素材から 生まれる 革小物の世界

工房 1m(大月市)
革製品作家
藤本 二菜さん

藤本二菜さんは大月市富浜町の出身。革製品を創作する仕事に就きたいと東京に出て、経験を積んだ後、32歳の時に地元へUターン。3年前に工房兼店舗「1m(ルーメン)」をオープンしました。

ブランド「郡内レザー」を立ち上げ、山梨県東部・桂川流域の郡内地方(主に大月市、都留市、上野原市、北都留郡、南都留郡)で環境保護のために駆除された鹿やイノシシの革を使用した製品を作っています。

「地元に戻ってきてから、地域のことをもっと知りたいと思い、いろいろ調べてみました。その中で、駆除した鹿やイノシシの皮をなめしてくれる業者が郡内にあることを知りました。しかし、この地域では、駆除した鹿やイノシシの皮を商品として使うという認識はほとんどありませんでした。それでも、自分も猟や解体の現場に関わってみたいという思いから、狩猟免許を取得し、地元の猟友会の皆さんと一緒に山に入るようになりました。その結果、猟師さんとも気持ちが通じ合うよ

—山梨への移住相談はこちらへ— やまなし暮らし支援センター

専門相談員が常駐し、山梨への移住や就職について、ワンストップでお手伝い。移住セミナーや各種イベントも開催しています。

■やまなし暮らしセミナー

自治体職員や相談員による地域情報の提供や個別相談などを行います。

3/10(土) 富士北麓・東部地域セミナー NPOふるさと回帰支援センター

3/23(金) 都留市CCRCセミナー…… NPOふるさと回帰支援センター

4/14(土) 山梨県就農セミナー…… NPOふるさと回帰支援センター

東京都千代田区有楽町2-10-1

東京交通会館8F NPOふるさと回帰支援センター内

TEL.03-6273-4306 FAX.03-6273-4307

E-mail:yamanashi@furusatokaiki.net

利用時間：火～日曜日 10:00～18:00

やまなし暮らし 検索



二菜さんの製品やセレクトしたこだわりの雑貨などが並ぶ店内。製品には郡内のローマ字表記の「g」から鹿の角が生えているロゴマークが付いている。「lm(ルーメン)」は電気の明るさを表すものです。使ってくれる方の気持ちが少しでも明るくなってほしいという思いから名付けました」と二菜さん。



工房lm(ルーメン)

大月市富浜町鳥沢947-4
TEL.0554-56-7097
営業時間：11:00～19:00
定休日：日曜日・火曜日



うになり、今では皆さま方に応援していただき、こうして創作活動を行うことができています」

100%植物性のタンニンによる製法でなめされた、人にも自然にも優しい品質の革で作った製品を、地元郡内にちなみ「郡内レザー」と名付けました。

「天然素材ですから傷もありますが、それも野生動物が厳しい自然環境の中で生きた証しです。一つとして同じものはなく、使い込むほどに風合いも深まり愛着が生まれてきます。そんな魅力ある『郡内レザー』に触れていただき、郡内地方の素晴らしさを知ってほしいという思いを込めて作っています」

二菜さんはずっと地元は何もない所だと思っていて、その魅力に気付いていなかったといいます。

「でも、今なら分かります。ここは、人、モノ、自然、何でもある素晴らしい所です。山梨には400年以上もの歴史を持つ革工芸『印伝』があります。その業界でも若手職人さんが情熱を持つものづくりをしています。今後はそういった分野のクリエーターの皆さんともつながりを持ち、創作活動を続けていきたいです」